

自転車ツーリング ~ 信州編 (前編)

GW に自転車で5日間のツーリングに出かけてきました。糸魚川を出発、ひたすら南下して太平洋を目指すもので、1日100km程度の走行が目安です。姫川を遡上して分水嶺を越え、諏訪湖に出て天竜川を下るルートですが、川沿いは傾斜が緩いため比較的楽なのに対して、分水嶺の峠はきついです...

自転車ツーリングルートマップ

新潟県糸魚川 ~ 静岡県天竜市



輪行(りんこう)

大阪から糸魚川までは電車での移動です。自転車はというと、バラして袋に入れて持っていきます。「輪行」と言いません。帰りも同様です。

朝7時過ぎ大阪発の「特急サンダーバード」で金沢へ行き、「特急はくたか」に乗り換えて11時過ぎに糸魚川に到着。天気が良く、車窓に広がる琵琶湖やまだ白い北陸の山々がとてもきれいでした。



糸魚川

糸魚川駅前で自転車を組み立ててさあ出発。

糸魚川は、翡翠(ヒスイ)とフォッサマグナ(静岡にかけて本州の中央を縦に横切る大きな溝)で有名です。



駅の近くの商店街は、雁木の形を生かした木のアーケードです。各お店の看板もかわいい木の看板で統一されています。

洞門ロード 国道148号

白馬へ向かう国道148号はV字の峡谷が美しい道です。最初は景色を堪能していたのですが、途中からは何kmも続く洞門とトンネル。こんな道は見たことはありません。

車とトラックも多いし、とても危険でした。自転車はお勧めできないかなあ。洞門はトンネルと違って地図に載ってないので、こんなはずではって感じでした。1日目はマシントラブルに見舞われて小谷村でストップです。



雪の北アルプス

2日目は白馬連山を横目に見ながらのルートです。山々は稜線が険しく、まだ真っ白。まさに信州の山って感じで、感動の景色の連続です。川は鯉のぼりの群れで飾られ、スキー場は最後の春スキーを楽しむ客で賑わっていました。

夏や冬には何度か来たことがありますが、雪、鯉のぼり、春の草花が同時に見られる季節に来たのは初めてです。超お勧めの季節です。



白馬のジャンプ台

98年の長野五輪、ジャンプ団体で金メダルを取った聖地です。日本中が湧きました。ジャンプ台は現在、立派な観光スポットです。雪はなく、人工芝の緑がきれいでした。リフトで上がれますが今回はパス。

札幌五輪の大倉山ジャンプ台に上がったことがあります。斜面ではなく絶壁です。白馬または札幌では是非一度、体感してみてください。半端じゃないです。彼らの凄さが分かります。



安曇野（あづみの）

北アルプスの麓の丘に広がる安曇野一帯には十数ヶ所のミュージアムが点在しています。これらを結ぶ道はアートロードと呼ばれています。リンゴ園なども広がっていて、気持ちの良い道です。

中でも人気があるのは、安曇野ちひろ美術館。いわさきちひろの絵を中心に、世界の絵本画家の作品が展示されています。広々とした公園と一体になっているので、気持ちの良いスポットです。



松本市まで走って2日目は終わり。松本で標高600m程度ですが、糸魚川からほとんど上りであることを感じずに来ることができます（川沿いを離れて丘の上へ行く時は別ですが）。いよいよ3日目は峠を越えて御柱祭の諏訪湖です。（続く）